

2021年度 第2四半期 決算概要

I. 2021年度 上期 連結業績概要 2021年度 第2四半期 連結業績概要 2021年度 通期 連結業績予想

II. 補足資料

シャープ株式会社
2021年11月4日

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社(以下、総称して「シャープ」という)の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※開示セグメント及び略号

スマートライフ(SL)、8Kエコシステム(8K)、ICT(ICT)、ディスプレイデバイス(DD)、エレクトロニックデバイス(ED)

I . 2021年度 上期 連結業績概要 2021年度 第2四半期 連結業績概要 2021年度 通期 連結業績予想

SHARP

1

- ・ 本日はご多忙な中、ご参加頂き ありがとうございます。
また日頃は、当社の広報(IR)活動にご協力頂き、まことにありがとうございます。
- ・ それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

連結業績概要

- ・ 上期の売上高と各利益は、いずれも前年同期を上回り、経常利益は1.7倍、最終利益は1.8倍の大幅な増益となる
- ・ 第2四半期は、新型コロナウイルス再拡大の影響やサプライチェーンの混乱などもあり、売上高は前年同期を下回ったものの、着実に収益力の向上を進めてきたことから、各利益ともに伸長を遂げ、最終利益は1.3倍となる
- ・ 白物家電は、引き続き10%を超える高い利益率を継続しており、ディスプレイデバイスは、利益が大きく回復
- ・ 業績が期初の想定通りに進捗してることから、2021年度の通期予想は前回予想を据え置く

SHARP

2

- ・ まず、連結業績概要になります。
- ・ 上期の売上高と各利益は、いずれも前年同期を上回り、経常利益は1.7倍、最終利益は1.8倍の大幅な増益となりました。
- ・ 第2四半期については、新型コロナウイルス再拡大の影響やサプライチェーンの混乱などもあり、売上高は前年同期を下回ったものの、着実に収益力の向上を進めてきたことから、各利益とも伸長を遂げ、最終利益は前年同期比で約1.3倍となりました。
- ・ 白物家電は、引き続き10%を超える高い利益率を継続しており、ディスプレイデバイスは、利益が大きく回復しております。
- ・ 業績が期初の想定通りに進捗していることから、2021年度の通期予想は前回予想を据え置いております。

2021年度 上期 連結業績概要

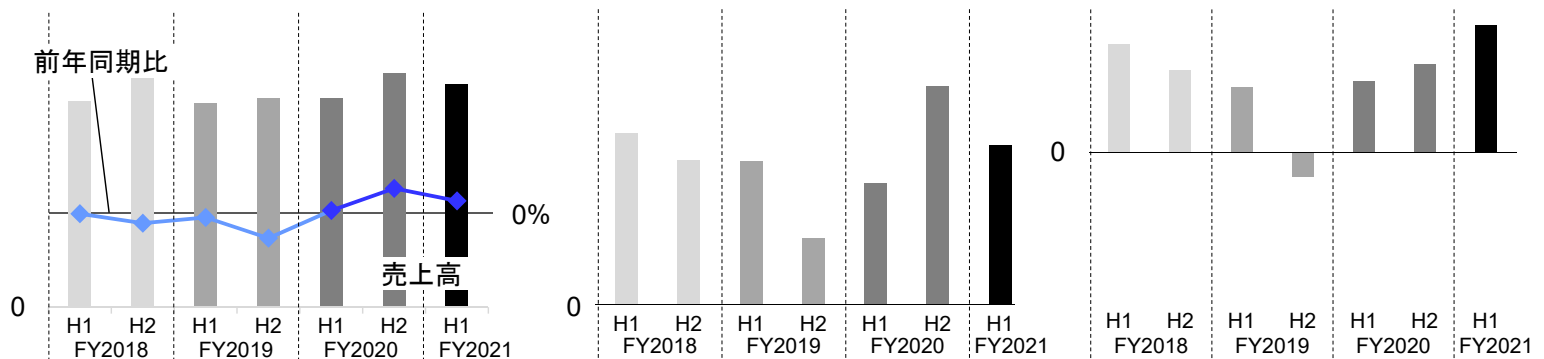
(単位:十億円)

	2020年度			2021年度	
	上期	下期	年間	上期	前同比
売上高	1,143.4	1,282.4	2,425.9	1,218.2	+6.5%
営業利益	29.6 (2.6%)	53.4 (4.2%)	83.1 (3.4%)	39.0 (3.2%)	+31.6%
経常利益	29.8 (2.6%)	33.2 (2.6%)	63.1 (2.6%)	50.8 (4.2%)	+70.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	23.7 (2.1%)	29.4 (2.3%)	53.2 (2.2%)	42.5 (3.5%)	+78.9%
平均為替レート					
ドル円	105.92	104.20	105.06	108.80	
ユーロ円	119.79	124.61	122.20	129.39	

売上高

営業利益

親会社株主に帰属する四半期純利益



SHARP

3

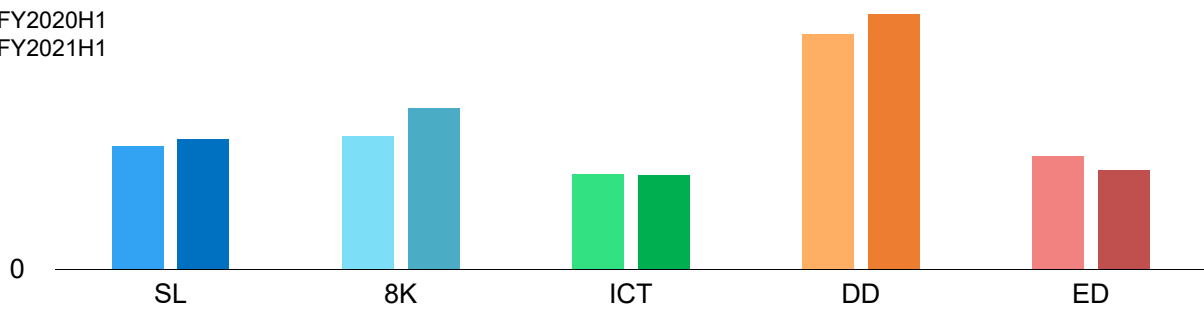
- ・ 続いては、2021年度 上期の業績数値です。
- ・ 売上高は、前年同期比 6.5%増の 1兆2,182億円となりました。
- ・ 利益につきましては、
営業利益が 31.6%増の 390億円、
経常利益が 70.2%増の 508億円、
最終利益が 78.9%増の 425億円となりました。

(上期)セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2020年度			2021年度	
	上期	下期	年間	上期	前同比
スマートライフ	212.0	243.4	455.5	223.9	+5.6%
8Kエコシステム	227.9	265.0	493.0	276.0	+21.1%
ICT	162.5	180.9	343.4	162.1	-0.3%
ブランド事業計	602.6	689.4	1,292.0	662.1	+9.9%
ディスプレイデバイス	403.3	409.4	812.7	436.7	+8.3%
エレクトロニックデバイス	194.2	234.3	428.5	170.0	-12.4%
デバイス事業計	597.6	643.7	1,241.3	606.8	+1.6%
小計	1,200.2	1,333.2	2,533.4	1,269.0	+5.7%
調整額	-56.7	-50.8	-107.5	-50.8	-
合計	1,143.4	1,282.4	2,425.9	1,218.2	+6.5%

左棒: FY2020H1
右棒: FY2021H1



SHARP

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

4

- ・ 次のスライドは、上期のセグメント別 売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は 前年同期比 9.9%増の 6,621億円、デバイス事業は 1.6%増の 6,068億円となりました。

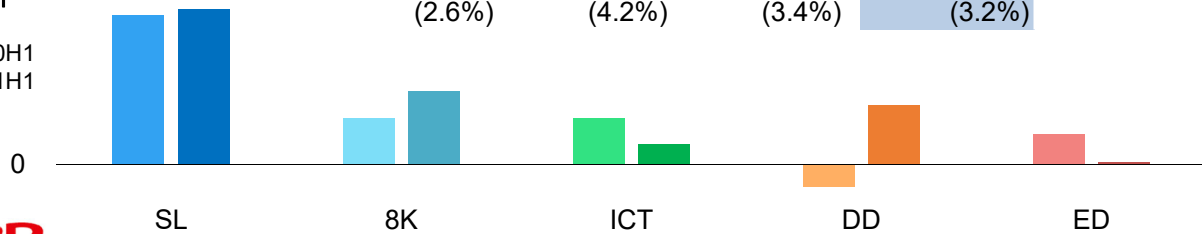
(上期)セグメント別営業利益

※()内の数字は営業利益率です。

(単位:十億円)

	2020年度			2021年度	
	上期	下期	年間	上期	前同比
スマートライフ	23.5 (11.1%)	35.3 (14.5%)	58.8 (12.9%)	24.4 (10.9%)	+3.9%
8Kエコシステム	7.3 (3.2%)	8.1 (3.1%)	15.5 (3.1%)	11.5 (4.2%)	+57.4%
ICT	7.2 (4.5%)	8.1 (4.5%)	15.4 (4.5%)	3.1 (1.9%)	-57.1%
ブランド事業	38.1 (6.3%)	51.6 (7.5%)	89.8 (7.0%)	39.1 (5.9%)	+2.5%
ディスプレイデバイス	-3.5 (-0.9%)	5.3 (1.3%)	1.8 (0.2%)	9.3 (2.1%)	-
エレクトロニックデバイス	4.7 (2.4%)	7.9 (3.4%)	12.6 (3.0%)	0.3 (0.2%)	-92.2%
デバイス事業	1.2 (0.2%)	13.3 (2.1%)	14.5 (1.2%)	9.6 (1.6%)	7.8倍
小計	39.4 (3.3%)	64.9 (4.9%)	104.3 (4.1%)	48.8 (3.8%)	+23.9%
調整額	-9.7	-11.4	-21.2	-9.8	-
合計	29.6 (2.6%)	53.4 (4.2%)	83.1 (3.4%)	39.0 (3.2%)	+31.6%

左棒: FY2020H1
右棒: FY2021H1



SHARP

5

・ 続いては、上期のセグメント別 営業利益の一覧になります。

・ ブランド事業の営業利益は 前年同期比 2.5%増の 391億円、デバイス事業は 7.8倍の 96億円となりました。

ご覧のように、上期累計では、ブランド事業、デバイス事業ともに増収増益となっております。

2021年度 第2四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

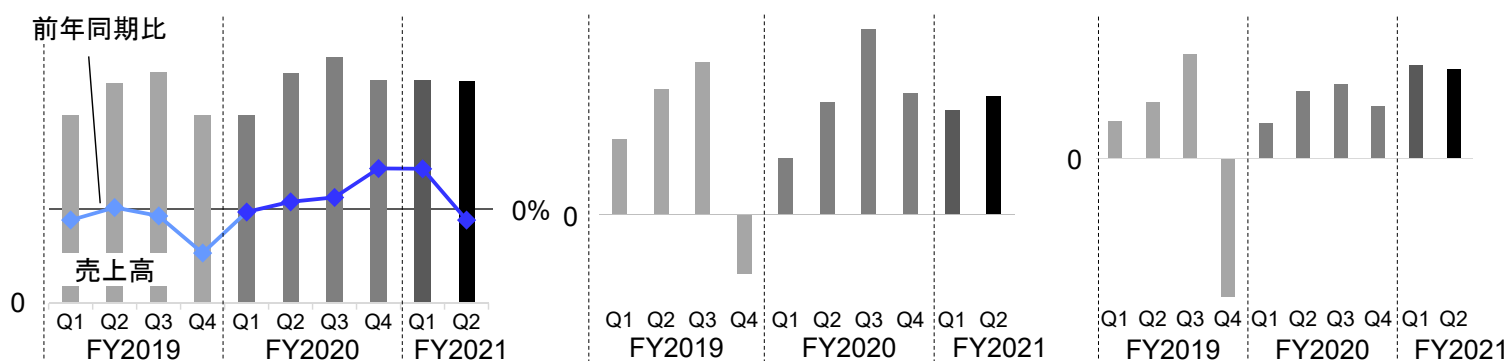
	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
売上高	514.4	628.9	673.4	609.0	611.5	606.6	-3.6%
営業利益	9.8 (1.9%)	19.7 (3.1%)	32.3 (4.8%)	21.1 (3.5%)	18.3 (3.0%)	20.6 (3.4%)	+4.4%
経常利益	11.2 (2.2%)	18.5 (3.0%)	13.9 (2.1%)	19.3 (3.2%)	25.6 (4.2%)	25.2 (4.2%)	+35.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8.1 (1.6%)	15.5 (2.5%)	17.3 (2.6%)	12.1 (2.0%)	21.6 (3.5%)	20.8 (3.4%)	+33.9%
平均為替レート							
ドル円	106.62	105.22	103.51	104.90	108.49	109.11	
ユーロ円	116.97	122.61	123.03	126.18	130.45	128.33	

売上高

営業利益

親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比



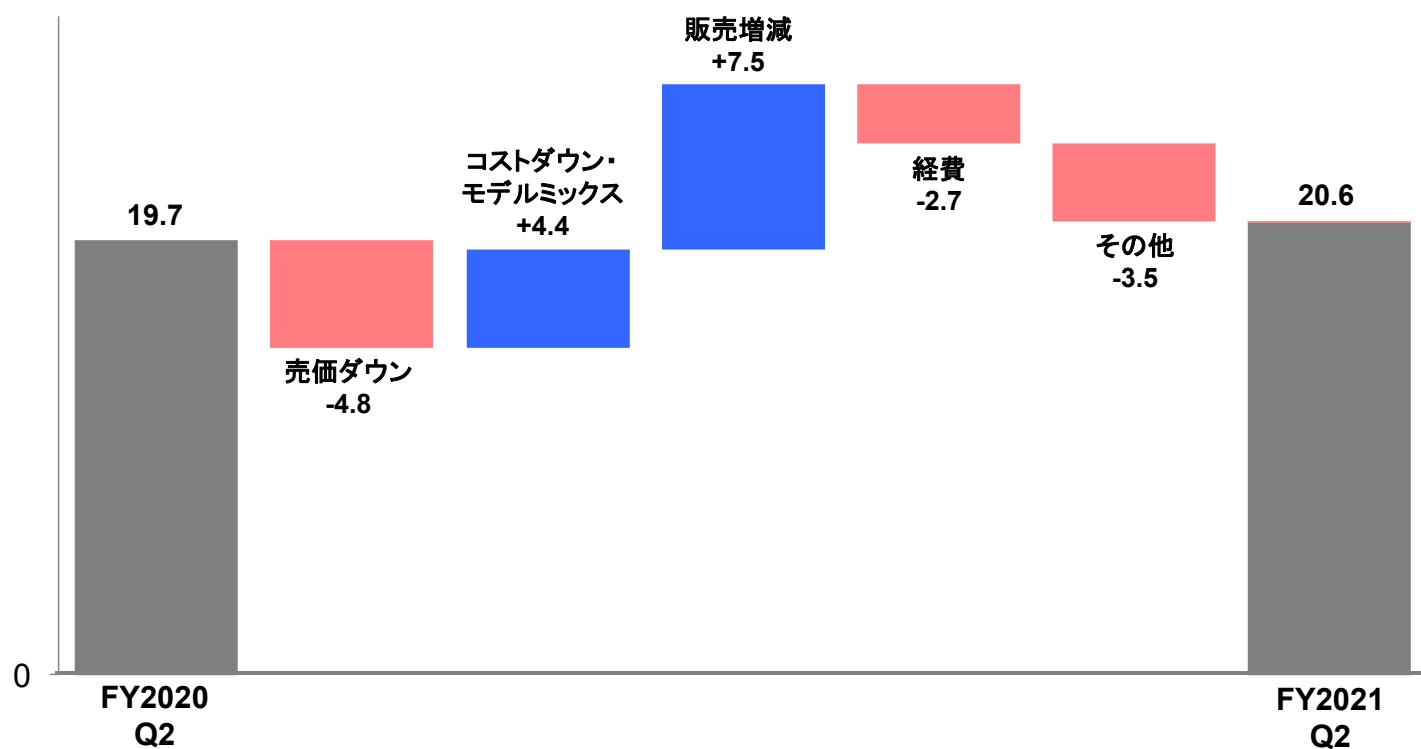
SHARP

6

- ・ 続いては、2021年度 第2四半期の業績数値です。
- ・ 売上高は、前年同期比 3.6%減の 6,066億円となりました。
- ・ 利益につきましては、
営業利益が 4.4%増の 206億円、
経常利益が 35.6%増の 252億円、
最終利益が 33.9%増の 208億円となりました。

(第2四半期) 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(単位:十億円)



SHARP

7

- ・ 次のグラフは、2021年度 第2四半期の営業利益の前年同期に対する増減を要因別にまとめたものです。
- ・ 2021年度 第2四半期は、「売価ダウン」による 48億円の収益の減少、「コストダウン・モデルミックス」による 44億円の収益の改善、「販売増減」による 75億円の利益の増加、「経費」の増加による 27億円の利益の減少などがありました。

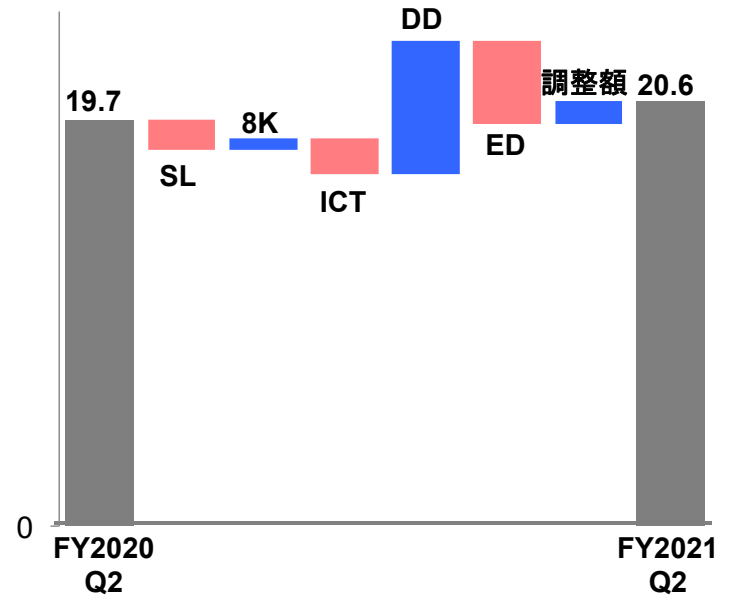
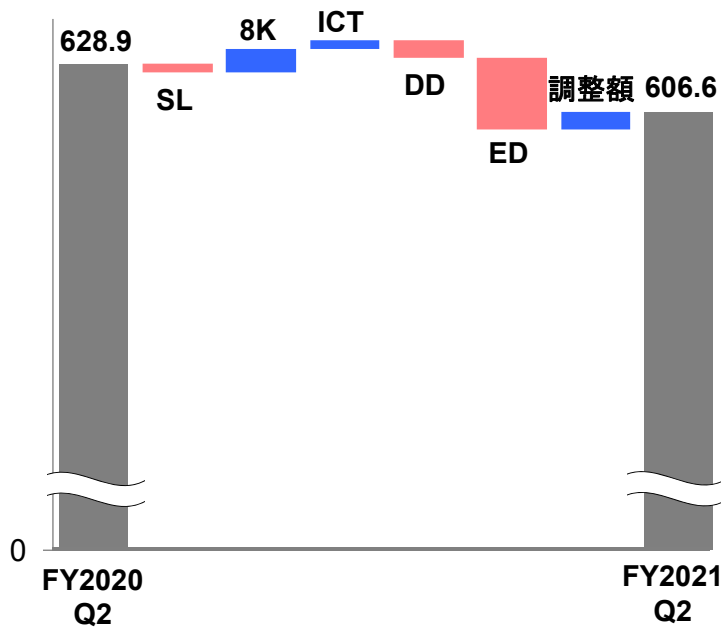
(第2四半期)セグメント別増減分析(対前年同期)

売上高

営業利益

(単位:十億円)

(単位:十億円)



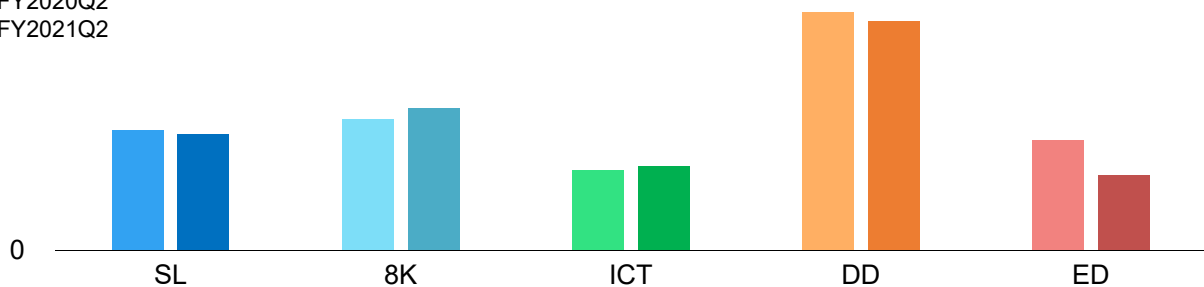
- ・ 次のスライドは、前年同期からの売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめております。
- ・ 2021年度の第2四半期は、売上高は、8KエコシステムとICTが増収となり、営業利益では、8Kエコシステムとディスプレイデバイスが増益となりました。

(第2四半期)セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
スマートライフ	95.3	116.7	117.6	125.7	111.0	112.9	-3.3%
8Kエコシステム	100.5	127.4	127.4	137.6	137.5	138.5	+8.7%
ICT	84.5	77.9	83.1	97.7	80.2	81.8	+5.0%
ブランド事業計	280.4	322.1	328.2	361.2	328.7	333.3	+3.5%
ディスプレイデバイス	171.8	231.4	215.6	193.7	213.3	223.4	-3.5%
エレクトロニックデバイス	86.6	107.5	157.1	77.2	96.5	73.5	-31.6%
デバイス事業計	258.5	339.0	372.8	270.9	309.8	297.0	-12.4%
小計	539.0	661.1	701.0	632.1	638.6	630.3	-4.7%
調整額	-24.5	-32.1	-27.6	-23.1	-27.0	-23.7	-
合計	514.4	628.9	673.4	609.0	611.5	606.6	-3.6%

左棒: FY2020Q2
右棒: FY2021Q2



SHARP

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

- ・ 次のスライドは、第2四半期のセグメント別売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は 前年同期比 3.5%増の 3,333億円、デバイス事業は 12.4%減の 2,970億円となっております。

(第2四半期)セグメント別営業利益

※()内の数字は営業利益率です。

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度		前同比
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	
スマートライフ	10.1 (10.7%)	13.3 (11.5%)	16.8 (14.3%)	18.5 (14.7%)	12.6 (11.4%)	11.8 (10.5%)	-11.3%
8Kエコシステム	0.5 (0.5%)	6.8 (5.4%)	5.1 (4.1%)	3.0 (2.2%)	4.1 (3.0%)	7.3 (5.3%)	+7.9%
ICT	4.5 (5.4%)	2.7 (3.5%)	3.7 (4.5%)	4.3 (4.5%)	2.1 (2.7%)	0.9 (1.2%)	-63.3%
ブランド事業	15.2 (5.4%)	22.9 (7.1%)	25.7 (7.8%)	25.8 (7.2%)	18.9 (5.8%)	20.2 (6.1%)	-11.7%
ディスプレイデバイス	-3.0 (-1.8%)	-0.4 (-0.2%)	2.2 (1.1%)	3.1 (1.6%)	3.3 (1.6%)	5.9 (2.7%)	-
エレクトロニックデバイス	1.4 (1.7%)	3.2 (3.1%)	9.7 (6.2%)	-1.8 (-2.3%)	1.0 (1.1%)	-0.7 (-1.0%)	-
デバイス事業	-1.5 (-0.6%)	2.8 (0.8%)	12.0 (3.2%)	1.2 (0.5%)	4.3 (1.4%)	5.2 (1.8%)	+87.2%
小計	13.6 (2.5%)	25.7 (3.9%)	37.7 (5.4%)	27.1 (4.3%)	23.3 (3.7%)	25.5 (4.0%)	-0.9%
調整額	-3.8	-5.9	-5.4	-6.0	-4.9	-4.8	-
合計	9.8 (1.9%)	19.7 (3.1%)	32.3 (4.8%)	21.1 (3.5%)	18.3 (3.0%)	20.6 (3.4%)	+4.4%

左棒: FY2020Q2
右棒: FY2021Q2



SHARP

SL

8K

ICT

DD

ED

10

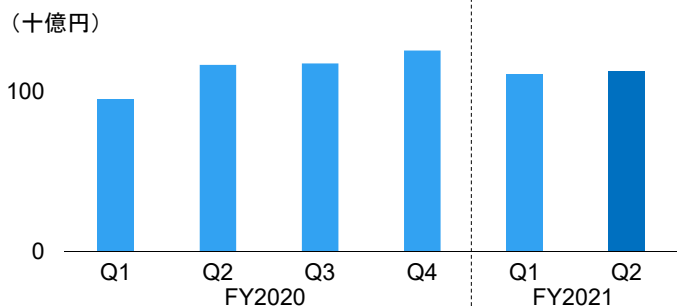
・ 続いては、第2四半期のセグメント別 営業利益の一覧になります。

・ ブランド事業の営業利益は 前年同期比 11.7%減の 202億円、デバイス事業は前年同期比 87.2%増の 52億円となりました。

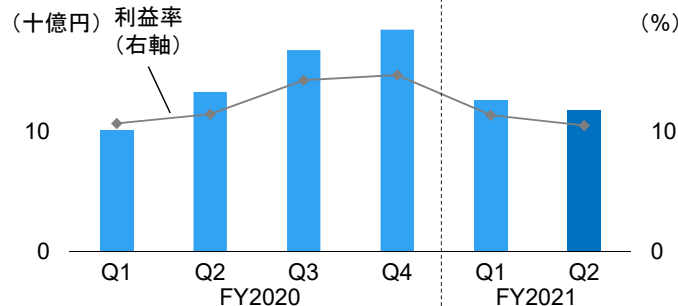
セグメントごとの状況については、後ほど、ご説明させていただきますが、各事業で、新型コロナウイルスの再拡大やサプライチェーンの混乱による影響がありました。

(単位:十億円)	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
売上高	95.3	116.7	117.6	125.7	111.0	112.9	-3.3%
営業利益 (利益率)	10.1 (10.7%)	13.3 (11.5%)	16.8 (14.3%)	18.5 (14.7%)	12.6 (11.4%)	11.8 (10.5%)	-11.3%

売上高(減収)



営業利益(減益)



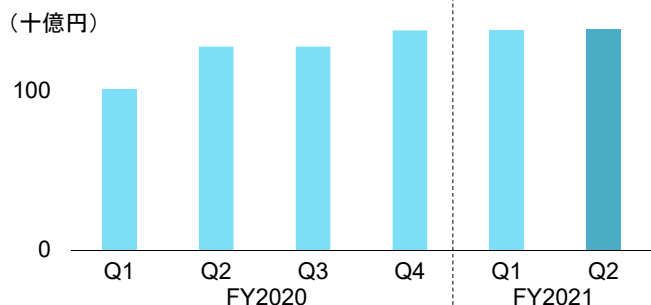
- (減) アジアの白物事業で新型コロナ再拡大の影響
- (減) 国内の空調に長雨の影響
- (減) エネルギーソリューション事業で部材隘路の影響
- (増) 欧米でビルトイン調理器などが伸長
- (増) 国内のEPC事業の売上が増加

- (減) 販売減
- (減) 部材価格高騰の影響
- (増) 各事業における収益力の向上

- 次のスライドをご覧ください。セグメントごとの概況になります。まずは、スマートライフです。
 - 売上高は、前年同期比 3.3%減の 1,129億円となりました。白物家電は、欧米でビルトイン調理器など調理家電の販売が増加したものの、アジアで新型コロナウイルス再拡大の影響から販売が減速し、減収となりました。一方、エネルギーソリューション事業については、国内のEPC事業が牽引し、増収となりました
 - 営業利益は、11.3%減の 118億円となりました。減収となったことに加え、部材価格高騰の影響があったことなどから減益となりました。
- 収益力は着実に向上しており、厳しい事業環境となった第2四半期においても10.5%の高い利益率を継続しております。

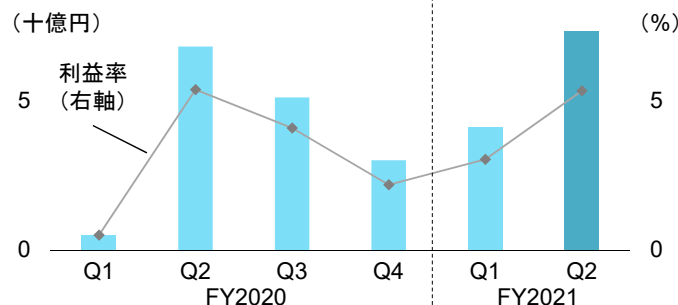
(単位:十億円)	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
売上高	100.5	127.4	127.4	137.6	137.5	138.5	+8.7%
営業利益 (利益率)	0.5 (0.5%)	6.8 (5.4%)	5.1 (4.1%)	3.0 (2.2%)	4.1 (3.0%)	7.3 (5.3%)	+7.9%

売上高(増収)



- (増) SNDS※の連結効果
- (増) スマートオフィス事業が伸長
- (増) 欧米などでMFP事業の拡販効果
- (減) 欧米向けなどで物流隘路の影響
- (減) アジアを中心に新型コロナ再拡大の影響

営業利益(増益)



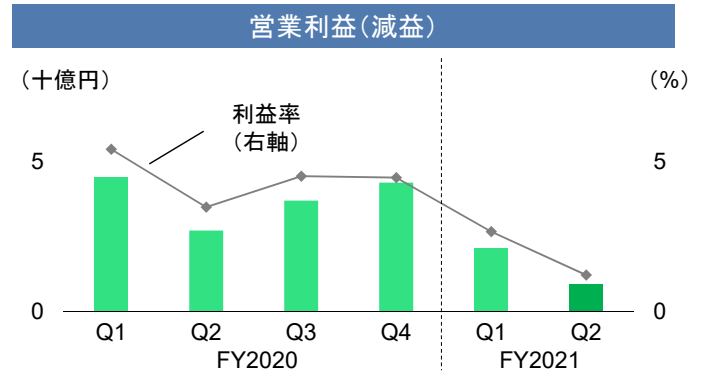
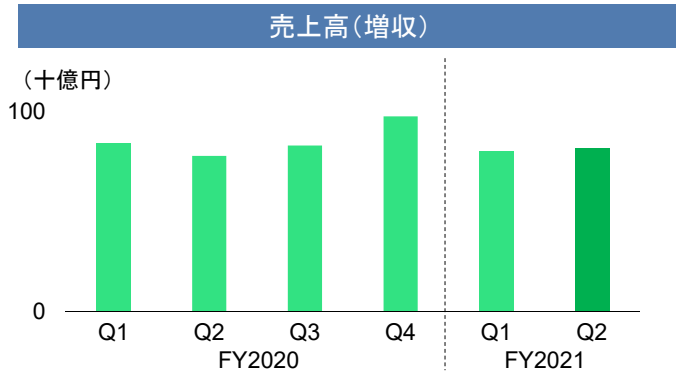
- (増) 販売増
- (増) 原価力の向上
- (増) 国内のMFP事業でプリントボリュームが回復
- (減) 部材価格の上昇・物流コストの増加

※ シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社



- ・ 次は、8Kエコシステムです。
- ・ 売上高は、前年同期比 8.7%増の 1,385億円となりました。
コンテナ不足や輸送期間の長期化、新型コロナウイルス再拡大の影響などがありました。シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社を連結した効果があったこと、スマートオフィス事業が伸長したことなどから、増収となりました。
- ・ 営業利益は、7.9%増の 73億円となりました。
増収となったこと、原価力の向上に努めたことなどから、部材価格が高騰し、物流コストが増加するなか、増益とすることができました。

(単位:十億円)	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
売上高	84.5	77.9	83.1	97.7	80.2	81.8	+5.0%
営業利益 (利益率)	4.5 (5.4%)	2.7 (3.5%)	3.7 (4.5%)	4.3 (4.5%)	2.1 (2.7%)	0.9 (1.2%)	-63.3%



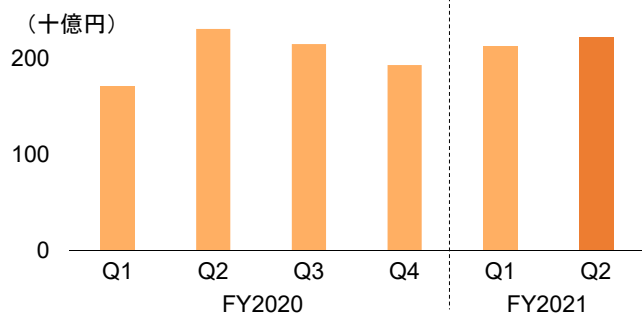
- (増) PC事業で国内法人向けの売上高が増加
- (増) 通信事業でホームルーターなど新規商材が好調
- (減) 部材隘路の影響

- (減) 半導体などの価格が上昇

- 次のスライドをご覧ください。ICTになります。
- 売上高は、前年同期比 5.0%増の 818億円となりました。
PC事業で、国内の法人向けの売上が増加したこと、
通信事業で、ホームルーターなどの新規商材が好調だったことから
増収となりました。
- 営業利益は、半導体をはじめ部材価格が全般的に上昇したことから、
63.3%減の 9億円となりました。
通信事業・PC事業とも、黒字を確保しております。

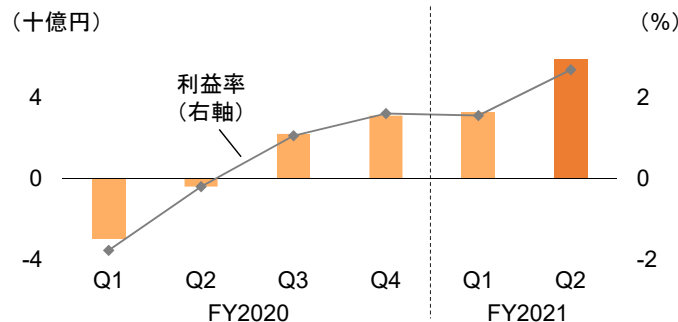
(単位:十億円)	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
売上高	171.8	231.4	215.6	193.7	213.3	223.4	-3.5%
営業利益	-3.0	-0.4	2.2	3.1	3.3	5.9	-
(利益率)	(-1.8%)	(-0.2%)	(1.1%)	(1.6%)	(1.6%)	(2.7%)	

売上高(減収)



- (減) スマホ向けが減少
- (減) 半導体隘路の影響
- (増) 車載向けパネルが伸長
- (増) PC・タブレット向けも堅調

営業利益(増益)

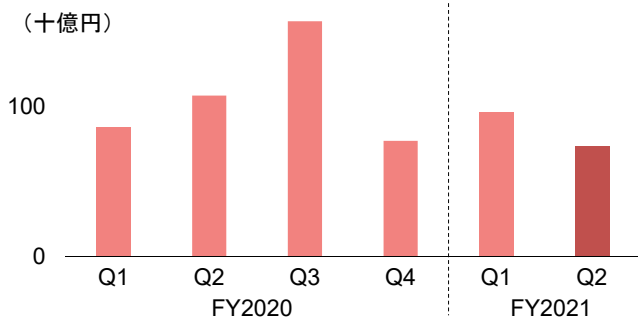


- (増) 中型パネルの販売増などモデルミックスの改善
- (減) 半導体などの価格が上昇

- ・ 次は、ディスプレイデバイスです。
- ・ 売上高は、前年同期比 3.5%減の 2,234億円となりました。
スマートフォン向けの小型パネルが減収となり、
車載向けやPC・タブレット向けなど中型パネルの販売が伸長しました。
- ・ 営業利益は、前年同期の 4億円の赤字から、63億円回復し、
59億円の黒字となりました。
販売に占める中型パネルの比率が上昇するなど、モデルミックスが
改善したことなどによるものです。

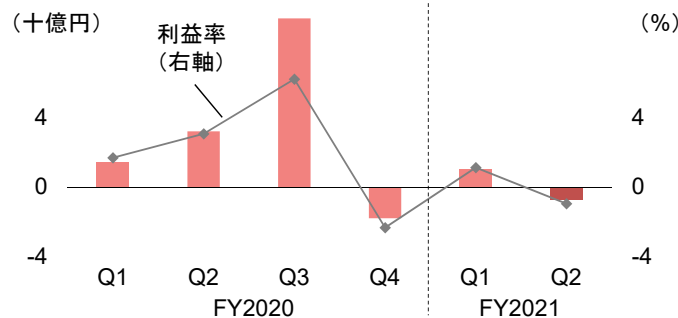
(単位:十億円)	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比
売上高	86.6	107.5	157.1	77.2	96.5	73.5	-31.6%
営業利益 (利益率)	1.4 (1.7%)	3.2 (3.1%)	9.7 (6.2%)	-1.8 (-2.3%)	1.0 (1.1%)	-0.7 (-1.0%)	-

売上高(減収)



(減) 新型コロナウイルスの再拡大による生産影響
(足もとでは正常化)

営業利益(減益)



(減) 販売減

- ・ 次のスライドは、エレクトロニックデバイスになります。
- ・ 売上高は、前年同期比 31.6%減の 735億円となりました。
新型コロナウイルスの再拡大による生産影響から減収となりましたが、現時点では正常化しております。
- ・ 営業利益は、減収となったことから、7億円の赤字となりました。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同 増減額
営業利益	9.8	19.7	32.3	21.1	18.3	20.6	+0.9
営業外損益	+1.4	-1.1	-18.3	-1.7	+7.2	+4.5	+5.6
内:支払利息	-1.2	-1.5	-1.3	-1.3	-1.3	-1.1	+0.4
為替差損益	+2.2	+1.3	+0.8	+1.0	+3.2	+3.7	+2.4
持分法による投資損益	-0.6	-2.8	-15.3	+2.1	+4.3	+2.3	+5.1
経常利益	11.2	18.5	13.9	19.3	25.6	25.2	+6.7
特別損益	-0.2	-0.1	+8.6	-4.9	+0.7	+0.8	+0.9
内:固定資産売却益	+2.8	-	+2.6	+0.1	+0.1	+0.4	+0.4
固定資産受贈益	-	-	+6.1	+0.5	+0.7	+0.5	+0.5
減損損失	-0.8	-0.1	-0.1	-5.2	-	-	+0.1
投資有価証券評価損	-2.0	-	-	-	-	-	-
税前利益	11.0	18.4	22.5	14.3	26.3	26.0	+7.6
法人税等 他	-2.8	-2.8	-5.1	-2.2	-4.6	-5.2	-2.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	8.1	15.5	17.3	12.1	21.6	20.8	+5.3

SHARP

16

- ・ 次のスライドは、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 2021年度の第2四半期には、大きな営業外損益、特別損益はありませんでした。

連結貸借対照表推移

- 第2四半期に、208億円の最終利益を計上したこと、有利子負債を200億円以上削減したことなどから、現預金は2,615億円、純資産は3,920億円、自己資本比率は20.0%となる

(単位:十億円)

	2020年度	2021年度			2020年度	2021年度	
	3月末	6月末	9月末		3月末	6月末	9月末
現預金	341.9	266.0	261.5	買掛金等	396.4	416.2	403.6
売掛金等	457.6	502.4	461.0	短期借入金	163.0	116.1	82.4
棚卸資産	263.0	294.8	311.6	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	126.1	113.3	119.9	その他	326.1	340.7	337.6
流動資産計	1,188.7	1,176.6	1,154.2	流動負債計	885.5	873.1	823.7
有形固定資産	438.4	440.0	443.5	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	45.1	45.0	43.5	長期借入金	561.8	558.4	569.4
投資その他資産	254.8	250.9	254.1	その他	115.6	112.6	110.2
固定資産計	738.4	736.0	741.2	固定負債計	677.5	671.1	679.7
資産合計	1,927.2	1,912.6	1,895.5	純資産	364.1	368.3	392.0
				負債純資産合計	1,927.2	1,912.6	1,895.5
期末日レート							
ドル円	109.72	109.61	110.95	自己資本比率	18.2%	18.5%	20.0%
ユーロ円	128.26	130.13	128.40	自己資本	350.3	354.7	379.3

SHARP

17

- 続いては、貸借対照表の推移です。
- 第2四半期には、前年同期比1.3倍となる208億円の最終利益を計上した一方、財務状況の改善に伴い有利子負債を200億円以上削減しました。

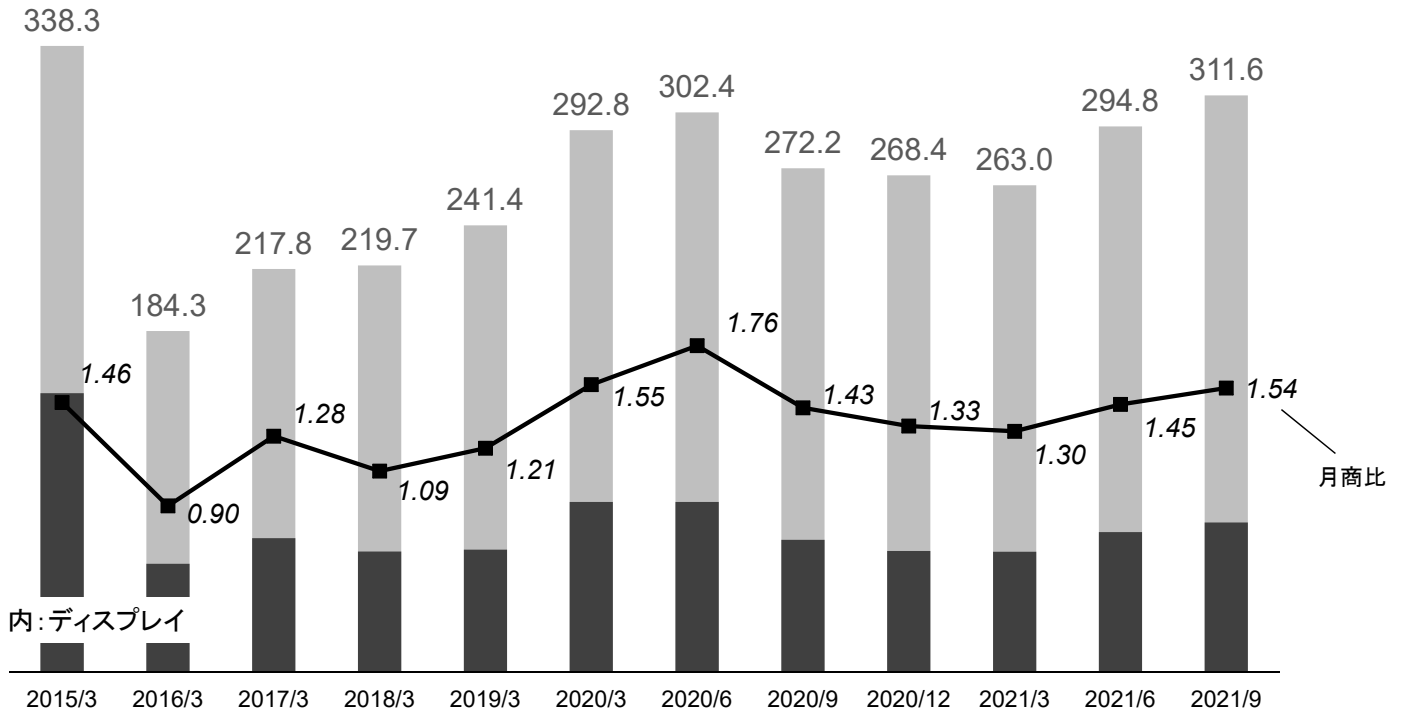
その結果、

2021年9月末の「現預金」は6月末の2,660億円に対し、2,615億円、「純資産」は3,683億円に対し、3,920億円、「自己資本比率」は18.5%に対し、20.0%となりました。

棚卸資産の推移

- ・2021年9月末の棚卸資産は3,116億円となり、2021年6月末から168億円の増加
- ・部材隘路、物流の長期化、サプライチェーンの混乱、下期以降の需要などを考慮した在庫水準

(単位:十億円、ヶ月)



※会計基準の変更にともない、2021/6以降は基準が異なる

SHARP

18

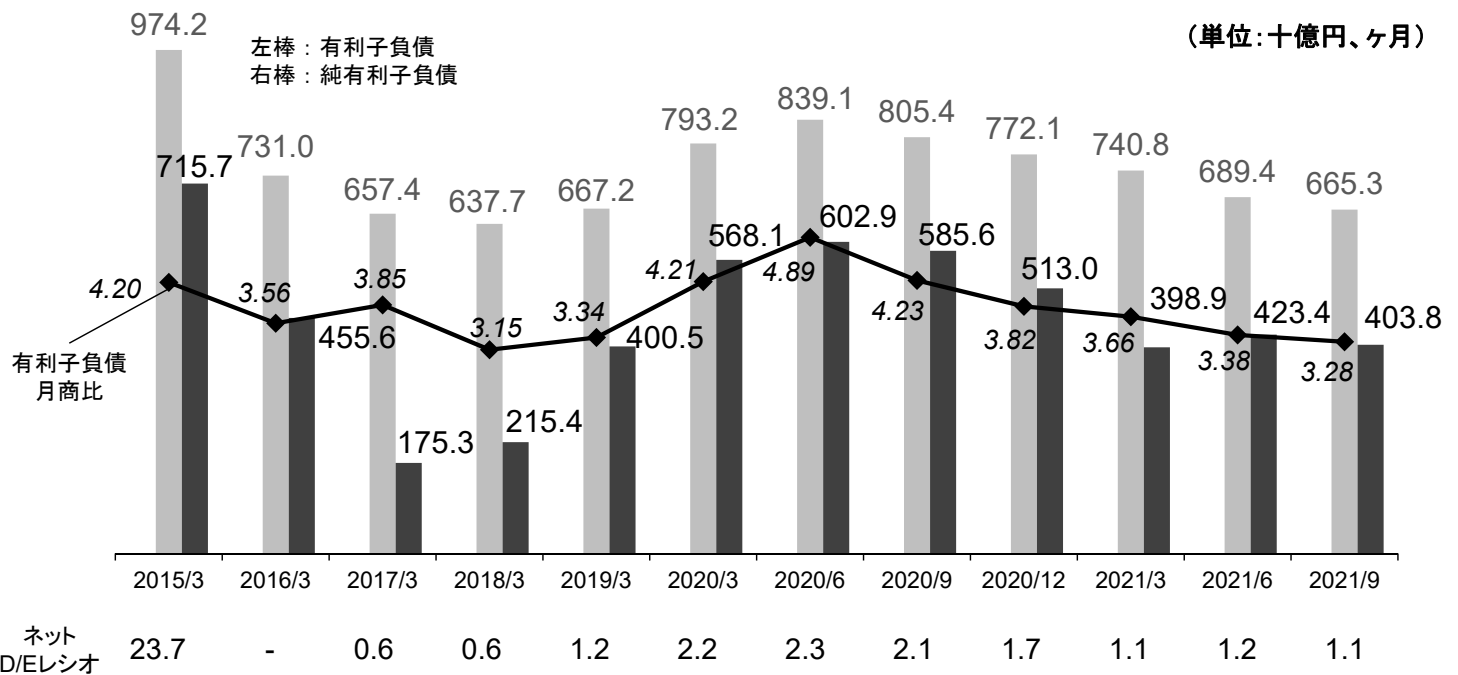
- ・ 次のスライドをご覧ください。「棚卸資産」の推移になります。
- ・ 2021年9月末の「棚卸資産」は、6月末から168億円増の3,116億円、月商比では1.54ヶ月となりました。

部材隘路や物流の長期化、サプライチェーンの混乱、下期以降の需要などを考慮した在庫水準となっております。

- ・ 新型コロナウイルスの状況やサプライチェーンの混乱、米中貿易摩擦の動向、それらに伴うデバイス顧客の需要動向など、事業環境の変化をさらに注視し、適正な在庫水準の維持に努めてまいります。

有利子負債の推移

- ・有利子負債は、2021年6月末の6,894億円に対し、241億円減の6,653億円に、月商比は、3.38ヶ月に対し、3.28ヶ月に
- ・純有利子負債※は、196億円減の4,038億円になる



※純有利子負債: 有利子負債 - 現預金

- ・ 次のスライドは、有利子負債の推移です。
- ・ 2021年9月末の有利子負債は、6月末の6,894億円から、241億円減少し、6,653億円となりました。
- 純有利子負債は、6月末の4,234億円に対し、4,038億円に減少しています。

2021年度 連結業績予想

外部環境

- ・新型コロナウイルスの先行きは不透明だが、経済活動は正常化していく見通し
- ・サプライチェーンの混乱は当面続くと想定

当社の状況

- ・上期は、期初の想定に沿った実績となる
- ・下期についても、期初の想定に沿った業績を達成することができる見込み

(単位:十億円)

	2020年度	2021年度	
	通期	通期予想	前年比
売上高	2,425.9	2,550.0	+5.1%
営業利益 (利益率)	83.1 (3.4%)	101.0 (4.0%)	+21.5%
経常利益 (利益率)	63.1 (2.6%)	91.0 (3.6%)	+44.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (利益率)	53.2 (2.2%)	76.0 (3.0%)	+42.7%
平均為替レート		下期予想	
ドル円	105.06	108.00	
ユーロ円	122.20	126.00	

SHARP

20

・ 次のスライドは、2021年度の連結業績予想になります。

・ まず、前提となる外部環境の見通しです。

新型コロナウイルスの先行きは不透明ではあるものの、経済活動は正常化していくと見ております。

また、サプライチェーンの混乱は当面続くと想定しております。

一方、当社の上期の業績は、期初の想定に沿った結果となりました。

また、こうした外部環境のもと、下期についても、期初の想定に沿った業績を達成できると考えております。

そうしたことから、売上高、各利益とも、5月11日に公表した前回予想を据え置いております。

Ⅱ．補足資料

- ・ 補足資料として、「セグメント別売上高・営業利益」等の実績をまとめております。
- ・ 下期には、各国で経済活動が正常化していくと見ておりますが、新型コロナウイルスの拡大に伴う新たな社会課題も顕在化しています。

そうしたなか、当社では、8K+5G機器やAIoT機器、さらにはサービス、ソリューションの創出に取り組んでおり、withコロナの動きに対応した新規事業領域への展開も進めています。

先日のCEATECでは、「New Normalを加速する、シャープのソリューション」をテーマに、当社の取り組みを3つのカテゴリーで紹介させていただきました。具体的には、「ニューノーマルソリューションズ」、「ニューノーマル社会を支える要素技術・デバイス」、「ニューノーマル時代のデジタルまちづくり」です。

- ・ 引き続き、“当社ならではの”の製品やサービス、ソリューションを活用して新規事業領域での展開を強化し、社会課題の解決と事業の変革・拡大を図ります。
- ・ そして、強いブランド企業“SHARP”を 早期に確立してまいります。
- ・ ご清聴ありがとうございました。

連結業績概要

(単位:十億円)

	2020年度			2021年度		
	上期	下期	通期	上期	下期差引	通期予想
売上高	1,143.4	1,282.4	2,425.9	1,218.2	1,331.8	2,550.0
営業利益	29.6	53.4	83.1	39.0	62.0	101.0
(利益率)	(2.6%)	(4.2%)	(3.4%)	(3.2%)	(4.7%)	(4.0%)
経常利益	29.8	33.2	63.1	50.8	40.2	91.0
(利益率)	(2.6%)	(2.6%)	(2.6%)	(4.2%)	(3.0%)	(3.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	23.7	29.4	53.2	42.5	33.5	76.0
(利益率)	(2.1%)	(2.3%)	(2.2%)	(3.5%)	(2.5%)	(3.0%)

SHARP

補足-2

四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	514.4	628.9	673.4	609.0	611.5	606.6
営業利益	9.8	19.7	32.3	21.1	18.3	20.6
(利益率)	(1.9%)	(3.1%)	(4.8%)	(3.5%)	(3.0%)	(3.4%)
経常利益	11.2	18.5	13.9	19.3	25.6	25.2
(利益率)	(2.2%)	(3.0%)	(2.1%)	(3.2%)	(4.2%)	(4.2%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8.1	15.5	17.3	12.1	21.6	20.8
(利益率)	(1.6%)	(2.5%)	(2.6%)	(2.0%)	(3.5%)	(3.4%)

SHARP

補足-3

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2020年度			2021年度
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ	212.0	243.4	455.5	223.9
8Kエコシステム	227.9	265.0	493.0	276.0
ICT	162.5	180.9	343.4	162.1
ブランド事業計	602.6	689.4	1,292.0	662.1
ディスプレイデバイス	403.3	409.4	812.7	436.7
エレクトロニックデバイス	194.2	234.3	428.5	170.0
デバイス事業計	597.6	643.7	1,241.3	606.8
小計	1,200.2	1,333.2	2,533.4	1,269.0
調整額	-56.7	-50.8	-107.5	-50.8
合計	1,143.4	1,282.4	2,425.9	1,218.2

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

補足-4

セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2020年度			2021年度
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ	23.5 (11.1%)	35.3 (14.5%)	58.8 (12.9%)	24.4 (10.9%)
8Kエコシステム	7.3 (3.2%)	8.1 (3.1%)	15.5 (3.1%)	11.5 (4.2%)
ICT	7.2 (4.5%)	8.1 (4.5%)	15.4 (4.5%)	3.1 (1.9%)
ブランド事業計	38.1 (6.3%)	51.6 (7.5%)	89.8 (7.0%)	39.1 (5.9%)
ディスプレイデバイス	-3.5 (-0.9%)	5.3 (1.3%)	1.8 (0.2%)	9.3 (2.1%)
エレクトロニックデバイス	4.7 (2.4%)	7.9 (3.4%)	12.6 (3.0%)	0.3 (0.2%)
デバイス事業計	1.2 (0.2%)	13.3 (2.1%)	14.5 (1.2%)	9.6 (1.6%)
小計	39.4 (3.3%)	64.9 (4.9%)	104.3 (4.1%)	48.8 (3.8%)
調整額	-9.7	-11.4	-21.2	-9.8
合計	29.6 (2.6%)	53.4 (4.2%)	83.1 (3.4%)	39.0 (3.2%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

補足-5

四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
スマートライフ	95.3	116.7	117.6	125.7	111.0	112.9
8Kエコシステム	100.5	127.4	127.4	137.6	137.5	138.5
ICT	84.5	77.9	83.1	97.7	80.2	81.8
ブランド事業計	280.4	322.1	328.2	361.2	328.7	333.3
ディスプレイデバイス	171.8	231.4	215.6	193.7	213.3	223.4
エレクトロニックデバイス	86.6	107.5	157.1	77.2	96.5	73.5
デバイス事業計	258.5	339.0	372.8	270.9	309.8	297.0
小計	539.0	661.1	701.0	632.1	638.6	630.3
調整額	-24.5	-32.1	-27.6	-23.1	-27.0	-23.7
合計	514.4	628.9	673.4	609.0	611.5	606.6

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

補足-6

四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
スマートライフ	10.1 (10.7%)	13.3 (11.5%)	16.8 (14.3%)	18.5 (14.7%)	12.6 (11.4%)	11.8 (10.5%)
8Kエコシステム	0.5 (0.5%)	6.8 (5.4%)	5.1 (4.1%)	3.0 (2.2%)	4.1 (3.0%)	7.3 (5.3%)
ICT	4.5 (5.4%)	2.7 (3.5%)	3.7 (4.5%)	4.3 (4.5%)	2.1 (2.7%)	0.9 (1.2%)
ブランド事業計	15.2 (5.4%)	22.9 (7.1%)	25.7 (7.8%)	25.8 (7.2%)	18.9 (5.8%)	20.2 (6.1%)
ディスプレイデバイス	-3.0 (-1.8%)	-0.4 (-0.2%)	2.2 (1.1%)	3.1 (1.6%)	3.3 (1.6%)	5.9 (2.7%)
エレクトロニックデバイス	1.4 (1.7%)	3.2 (3.1%)	9.7 (6.2%)	-1.8 (-2.3%)	1.0 (1.1%)	-0.7 (-1.0%)
デバイス事業計	-1.5 (-0.6%)	2.8 (0.8%)	12.0 (3.2%)	1.2 (0.5%)	4.3 (1.4%)	5.2 (1.8%)
小計	13.6 (2.5%)	25.7 (3.9%)	37.7 (5.4%)	27.1 (4.3%)	23.3 (3.7%)	25.5 (4.0%)
調整額	-3.8	-5.9	-5.4	-6.0	-4.9	-4.8
合計	9.8 (1.9%)	19.7 (3.1%)	32.3 (4.8%)	21.1 (3.5%)	18.3 (3.0%)	20.6 (3.4%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

補足-7

設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2020年度			2021年度		
	上期	下期	通期	上期	下期差引	通期予想
設備投資	21.8	69.6	91.5	30.4	39.6	70.0
内:ディスプレイ	6.4	56.6	63.1	10.4	12.6	23.0
減価償却費	29.6	33.9	63.5	31.2	48.8	80.0
研究開発費	43.0	43.7	86.7	39.9	55.1	95.0

(単位:円)

平均為替レート	2020年度			2021年度	
	上期	下期	通期	上期	下期予想
米ドル	105.92	104.20	105.06	108.80	108.00
ユーロ	119.79	124.61	122.20	129.39	126.00

SHARP

補足-8

四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
設備投資	10.1	11.6	60.7	8.9	13.4	17.0
内:ディスプレイ	4.4	2.0	51.9	4.7	7.4	3.0
減価償却費	15.2	14.4	16.4	17.4	15.3	15.9
研究開発費	20.3	22.6	21.9	21.7	19.6	20.3

(単位:円)

平均為替レート	2020年度				2021年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
米ドル	106.62	105.22	103.51	104.90	108.49	109.11
ユーロ	116.97	122.61	123.03	126.18	130.45	128.33

SHARP

補足-9

SHARP

Be Original.

